



学校にまた元気な声に戻ってきました

3週間にわたるリモート期間が終了し、ようやく学校に子供たちが戻ってきました。新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、茨城県の小学校・義務教育学校の前期課程はリモート学習または分散による登校という形をとっていました。わずかですが感染状況も落ち着き、ようやく2月21日から土浦市は登校できるようになりました。

早いもので3学期も半分を過ぎました。3月18日(金)は卒業式、3月24日(木)は修了式です。短い日々ですが、6年生は卒業、1～5年生は進級に向けて学習面や生活面において取り組んでいくことがたくさんあります。そして、新型コロナウイルス感染症もまだまだ余談を許さない状況です。残り少ない日々ですが、全力で学校運営に取り組んで参ります。これからもご協力よろしくお願いたします。



9月30日(木)撮影

2学期始業式 リモートで行いました

10月4日(月)、改めてリモートによる第2学期の始業式を行いました。始業式では、代表児童による作文発表(2学期の抱負)がありました。2人とも2学期のめあてを具体的に、そして堂々と発表することができました。とても立派な発表でした。

代表児童 5-2 松崎央人 さん
3-4 松崎 怜 さん

始業式では2つの約束をしました

校長式辞の中で子供たちと次のような約束をしました。



2学期にがんばってほしいことが二つあります。

一つ目は一人一人が自分の目標を持つこと。勉強でも運動でもいいと

思います。コロナ禍でもがんばれることは必ずあるはず。目標に向かって担任の先生のアドバイスをよく聞き、友達と協力しながら、がんばってほしいと思います。

二つ目は新型コロナに注意して落ち着いた生活をする。新型コロナは1学期までとは少し違います。今まで以上にうがい、手洗い、マスク着用などに心がけ、落ち着いた生活をしていきましょう。

文科省 「GIGAスクール構想」 って何？



現在、文科省は「GIGAスクール構想」というものを進めています。それは、児童生徒に1人1台の端末とネットワークを整備し、より一層充実した教育活動を推進していくとするものです。また、今後の新型コロナウイルス感染症による臨時休業等も見据え、さらに加速させているところです。

土浦市はこの度の自宅学習期間をきっかけに、3年生以上にGIGAスクール端末(タブレット)を配付し、長期の自宅学習における学びの保障を目標に始動しました。しかし、今回の第5波は予想外に急激で、長期の自宅学習になったため、土浦市も急ピッチで環境整備を進めました。そして現在はGIGAスクール端末(タブレット)を使って、同時双方向型オンライン授業ができるようになってきました。

「GIGAスクール構想」は、行政、学校、家庭が一体となって進めていくことが重要となります。これからもご理解、ご協力をお願いいたします。

校長室より 「新型コロナ より一層の注意を！」



早いもので3学期も半分を過ぎました。リモートによる学習を行っていたため、学習進度はほぼ通常通りなのですが、様々な活動が変更となってしまいました。2月末に予定していた授業参観は、感染症の影響で実施できなくなり、4年生の二分の一成人式や6年生の感謝の集いはどのようにしていくか考えなくてはなりません。また、6年生を送る会は、各学年ごとに準備を進めていますが、予定通りできるかどうか心配しています。6年生を送る会は6年生とその他の学年の子供たちとお別れの会です。卒業式に出られない1～5年生にとっては最後のお別れです。何とかお世話になった6年生とのお別れの会を実現させたいものです。

6年生は卒業まで19日。真鍋小学校で過ごせる日もごくわずかです。1日1日を大切にしてほしいものです。残りわずかな日々を充実した日々にしてほしいと思います。